

栃木サッカークラブ後援会
会長 上野勝弘様

貴後援会には、特段のご支援ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。とりわけ2015シーズンの終盤に厳しい戦況の中で後援会を挙げてご支援の活動をいただき感謝しております。しかし、皆様の多大なご支援にもかかわらずJ3に降格の結果になり誠に申し訳なくお詫びを申し上げます。

来季は1年でJ2のステージに戻るため社員一同総力を挙げて取り組む決意をしているところです。後援会の皆様には引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。遅くなりましたが11月20日付でいただいております要望書につきましてご回答させていただきます。

1、組織体制について

今回の結果に対しましては経営、フロント、チームそれぞれの責任を明確にすべく下記の決定をしました。

代表取締役社長、取締役会長の辞任。ゼネラルマネージャー、強化部長の更迭。監督交代。その他フロント職員は定期人事異動で行う。

2、J2復帰へのビジョン

監督、コーチ陣の刷新、確実に勝ち点3を勝ち取れるチーム編成。栃木SCスタイルの明確化を図る。攻め抜ける、守り抜けるチームの確立。レンタル選手を極力排し、基本的にSC籍の選手による編成とします。また、今季の弱点を徹底的に補強するチーム造りとする。

上記のチーム造りのため2016年予算は、目標に実効性のあるチームとするためチーム編成に資金を重点配分する。予算編成の中で赤字の状況が出た場合は、単年度赤字も覚悟する。

これによる財務状況は、この2年間で改善した資金を活用することになります。大きく財務状況を揺るがすことはありません。フロントの体制も見直し少数精鋭の体制とすることで、人件費、固定費の圧縮を図る。

3か年経営計画で掲げた育成型クラブの方針は継続するが、2年間の成果がみられず、着実に前進する実効性のある具体的な施策を含めて早急に検討、実施する。

以上、雑駁な回答ではありますがご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

2015年12月1日

株式会社栃木サッカークラブ
代表取締役社長 水沼富美男

